



けせんぬま子育てコレクティブインパクトプラットフォーム

こそだてノミカタ

5周年報告会

01

けせんぬま子育てコレクティブインパクトプラットフォーム コソダテノミカタとは

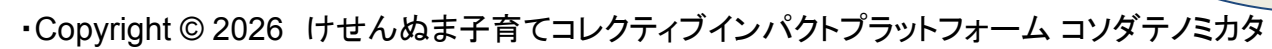




支援団体職員

行政職員

子育て世帯



▼ コソダテノミカタ (コアメンバー /50音順)

赤畑綾子(自然あそび保育モリノネ)

足立岬

板垣凜

伊藤理美(子育て支援サークルSOUP)

内海綾子(気仙沼市子ども家庭課)

大森美和(にじのわ助産院)

尾形真弓

尾形長治(株式会社丸和)

小野由希(子育て支援サークルSOUP)

小野寺亜衣

小野寺苑伽

小野寺佳子(気仙沼市保険年金課)

吉川絢水(気仙沼市子ども家庭課)

熊谷愛

熊谷育美

熊谷祐美

小林峻(合同会社colere)

澤村明日香

志田ももこ

白幡みゆ(一般社団法人あそびーばーの会)

菅原千枝子(気仙沼市ウェルビーイング推進官)

杉浦美里(けせんぬま旅する学校)

鈴木和海

高橋えり(子育て支援わくわくけせんぬま)

田中惇敏(認定NPO法人Cloud JAPAN)

中村祐美(自然あそび保育モリノネ)

半沢裕子(一般社団法人おりがみ)

深澤鮎美(自然あそび保育モリノネ)

星麻希(子育て支援わくわくけせんぬま)

政岡香凜(自然あそび保育モリノネ)

松田妃菜(自然あそび保育モリノネ)

松本光基(株式会社クロコカンパニー)

村上和佳奈(子育てシェアスペースOmusubi)

吉田恵(気仙沼市子ども家庭課)

渡邊国権(一般社団法人まるオフィス)

渡邊千晶

合計36名(2026年1月現

在)

▼ コソダテノミカタのカタチ

単年度協働プロジェクト



声

課題感

声

声



声

声

取り組んで
みたいこと

声

声



気仙沼のこども・子育て環境をよくしていくために。

▼ コソダテノミカタのカタチ

組織の代表者は不在。

プロジェクトへの参加は手上げ式



▼ コソダテノミカタのカタチ

意思決定は「対話」と「全体合意」



▼ コソダテノミカタのカタチ

2026年1月 Ver

コミュニティの願い

プロジェクト

プロジェクト

プロジェクト

プロジェクト

プロジェクト

事務局

共通のアジェンダ

共通のアジェンダ

共通のアジェンダ

共通のアジェンダ

声

声

声

声

声

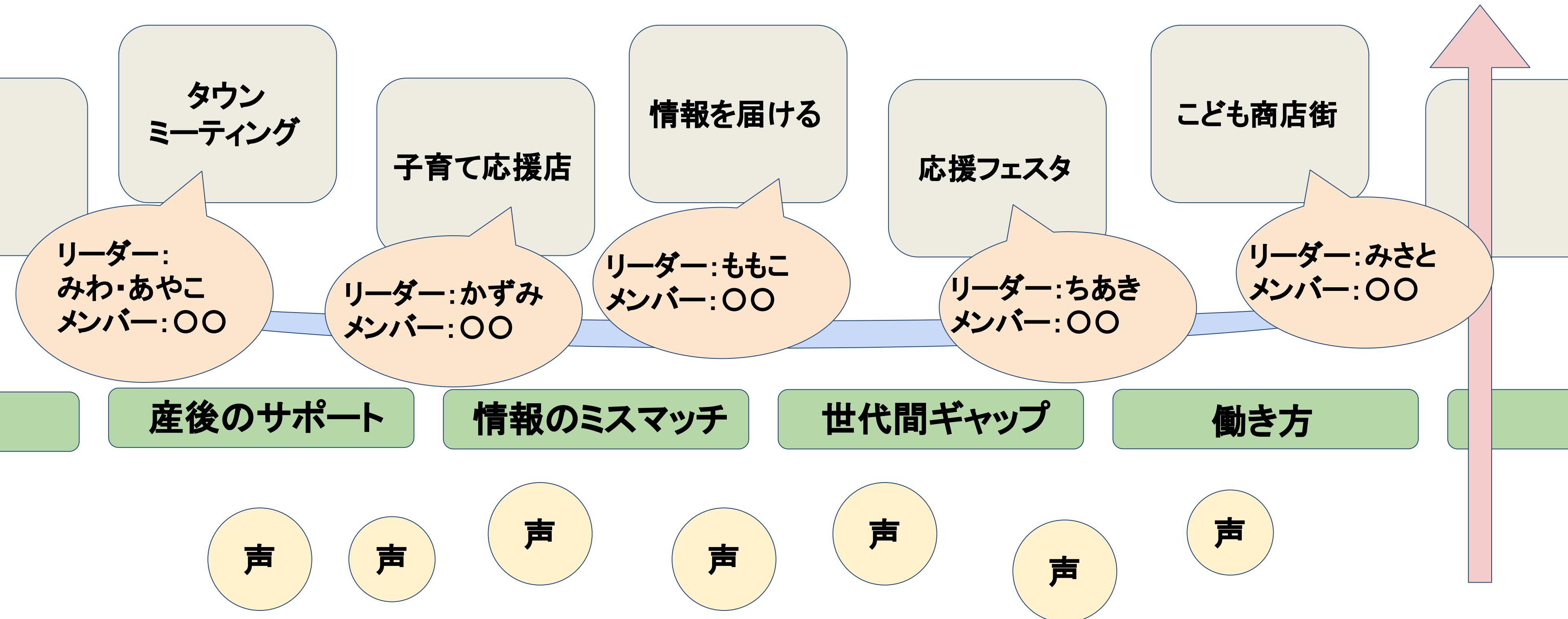
声

声

▼ コソダテノミカタのカタチ

2026年1月 Ver

コミュニティの願い



02

5年間で 取り組んできたプロジェクト



▼ 5年間にやってきたこと(事業)

プロジェクト総数 51

子育てタウンミーティング

まちの人と行政と一緒に、子育てについて意見交換。



子育て応援フェスタ

子育て世帯が、楽しみ癒されるイベント。



誕生リーフレット&紅茶

気仙沼の産後ママ全員に、ひと息つける紅茶と、情報をお届け。



行政連携ツアー

行政と民間がお互いの現場を見学し合い、連携を深めるツアー。



▼ 5年間にやってきたこと(事業)

子育て応援店

子育て世帯の来店を歓迎し
環境の整っている店舗の認証制度。



こども商店街

こどもたちがやりたいお店を開く1日だけの商店街イベント。



三陸新報コラム

気仙沼でこどもを
見守るすべての人へ、
様々な観点からコラム連載。



「イヤイヤ期」

「こどもとの
お風呂」



- ・子育て情報やイベント情報をInstagramで発信
(月間予定、イベント、遊び場紹介リール動画、お役立ち情報リール動画、特集)
- ・市政ガイド
- ・川柳写真コンテスト
- ・4ヶ月健診後に子育て情報の提供
- ・1stバースデー事業で子育て情報の提供
- ・ママ向けのデザイン講座
- ・妊産婦講座 ・川柳写真コンテスト



子育てに関する声を聞き続ける

【 子育てタウンミーティング 】



子育て中の方や子育てに関心のある方が、子どもや子育て環境について、
気軽に**思っていることや感じていることを話したり、情報交換をする場**

※2020年からスタート(**コソダテノミカタの立ち上げのきっかけ**)

▼ これまでの取り組み

年度	形式	対象	参加総数
2020	イベント型(2回)	①乳幼児親子 ②支援団体関係者・企業	127名
2021	イベント型(2回)	①②乳幼児親子	100名
2022	施設訪問型 (9カ所)	施設の利用者	42組
2023	アンケート型	子育て中の方	173名
2023	イベント型	① パパ向け ②乳幼児親子	①12名(参加者のみ) ②45名
2024	イベント型	障害・病気・発達特性を持つ親	61名
2025	イベント型	0~3歳の子を持つ親	45名



(会場の様子)



(施設訪問型)



▼ 今年度の様子 (動画)

コソダテノミカタ

Instagramリール動画



@kesennnuma_kosodate

▼ あがってきた声の一例

大型商業施設の空きスペースを利用できたらうれしい。
その活用に、クラウドファンディングのようなものがあつたら、協力したい。

子どもの預け先がなくて困る。

制度や支援施設の情報がバラバラで分かりにくい。

こどもが熱を出しても仕事を休めないときがあるので、病児保育があると助かる。



2020年



2025年

▼ 活動のポイント

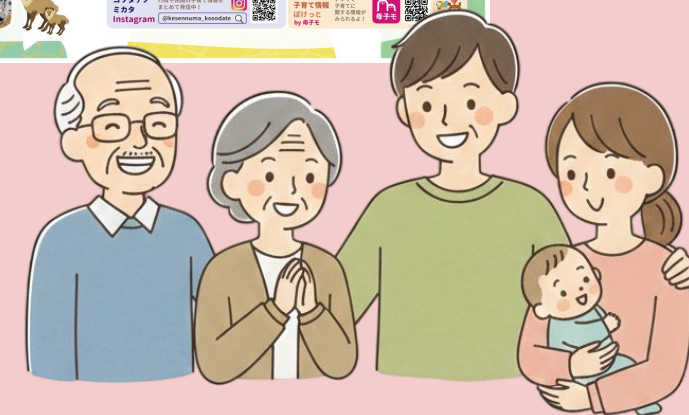
①子育て支援に関わる人が
みんなで声を聞く！
同じ方向を向く



②各セクター(団体)が
単独もしくは協働して
子育て環境をよくしていく



③声の発信
意見をまとめる
➡参加していない
市民にも知ってもらう



子育て世帯が、もっと安心して外出できるまちにしたい！

【 けせんぬま子育て応援店 】



- 2024年からスタートしたけせんぬま well-beingプランのひとつ
- 子育て世帯の来店を心から歓迎し、利用しやすい環境の整った店舗を、**気仙沼市が認証・発信する制度**

ようこそ、ミライを育むまちへ。 気仙沼市 2025年度版

親子も、店も、街もうれしい けせんぬま子育て応援店

今年も増えました！

気仙沼市では、
子育て世帯の来店を心から歓迎し、利用しやすい環境の
整った店舗を「けせんぬま子育て応援店」として認証しています。
まち全体で、子育てを応援する仕組みです。

第1弾 飲食店 63店舗 新たに8店舗
追加されました！

NEW!
第2弾 理容・美容室 8店舗

各店舗の設備やメニュー、口コミまで！
詳しい情報は **Instagram** で発信中
@kesennuma_kosodateouenten

このホヤぼーやが目印

気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

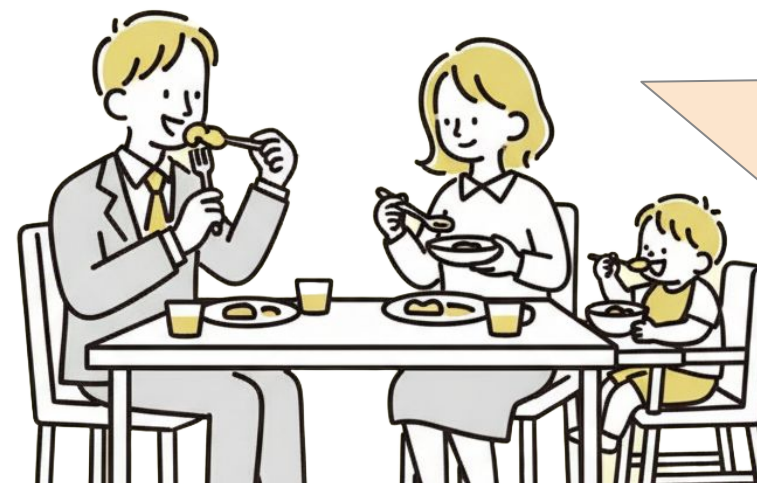
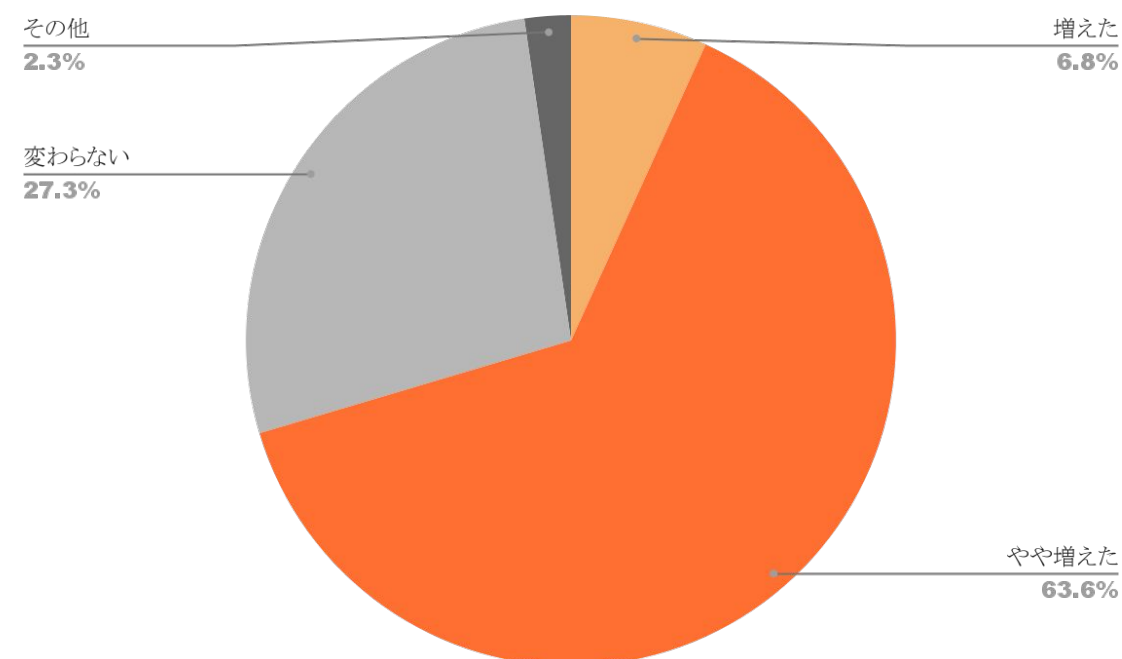
気仙沼市 / けせんぬま子育てコレクティブインパクトプラットフォーム「コソダテノミカタ」

▼ これまでの取り組み

年度	飲食店	理容・美容室
2024	55店舗	
2025	63店舗(8店舗追加)	8店舗



**70%以上の店舗が
子育て世帯の来店が「増えた」と回答**



子育て世帯の声

2歳の娘は長時間 座っているのがまだ苦手なので、
外食のときは周りに迷惑をかけてしまわないかいつも心
配でしたが、**歓迎してくれていることが事前に分かる** の
で安心して外食先を選べるようになりました！

認証店舗の声

子育て世代歓迎の気持ちを、のぼりやステッカー等で示
せることがありがたいです。おむつ替えスペースの**利用**
は以前より増えた ように感じます。



▼ 実施体制

行政・コソダテノミカタ・店舗が連携し、まち全体で子育てを応援する体制

気仙沼市

認証(信頼性)
公的広報

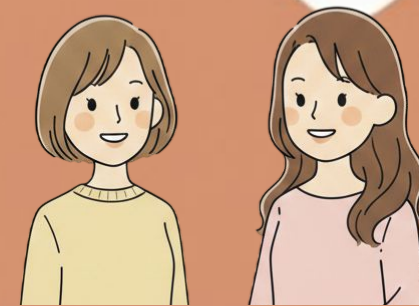


認証店舗

子育てに優しい取り組み
工夫の積み重ね



まち全体で
子育てを応援する



コソダテノミカタ

ミカタのミカタ
(子育てママ)



店舗訪問

当事者目線での制度運営

制度設計

店舗募集・訪問

情報発信

当事者目線での制度運営

▼ 活動のポイント

1)子育て世帯の声 (タウンミーティングの声)から実現

⇒ **子育てタウンミーティングで上がってきた、**

「子連れでの外出がハードルが高い・負担」という声を受け、プロジェクトに！

2)各自の得意を活かし、裾野を広げる活動体制

気仙沼市(行政)・コソダテノミカタ・ミカタのミカタ(子育てママ)・認証店舗

それぞれの**できることや得意が組み合わさって**、子育て世帯の課題を解決

市内にある支援施設に繋げる動線づくり

<step1>知る・見る

【 行政連携ツアー 】



- 「自分たち以外の子育て支援施設を知らないよね」という声から2021年よりスタート
- 市内にある子育て支援施設(行政施設・民間施設)を、**子育て支援に関わる担当課や、子育て支援団体のスタッフが、見学する 施設見学ツアー**

▼これまでの取り組み

実施回数 12回・91名 参加

年度	参加人数	参加者属性	(赤)民間 (青)行政
2021	31名	コソダテノミカタメンバー・児童館職員・支援センター職員	
2022	29名	子ども家庭課・児童館職員・包括支援センター職員・プロジェクト 1.90メンバー	
2024	16名	子ども家庭課・児童館職員・コソダテノミカタメンバー・支援施設スタッフ	
2025	15名	保育所長先生・児童館職員・児童センター職員・ミカタノミカタメンバー	



お互いの施設を紹介できるようになった



でも、、、

繋がれない人には
情報を届けられない



市内にある支援施設に繋げる動線づくり

<step2>伝える

【誕生祝い金同封リーフレット】



【受け取った人の声】

第一子目で、遊びにいける場所がどこにあるのか全く分からなかったもので、市内の利用できる施設を一挙に知ることができて、ありがたかった。



- ・全てがまとまっているリーフレットを作成！
- ・子ども家庭課 から出産したら全世帯に郵送する誕生祝い金に同封
- ・2022年4月開始

市内にある支援施設に繋げる動線づくり <step2>伝える

【 4ヶ月健診・1stバースデー事業での情報発信 】



【これまでの取り組み】

プロジェクト	開始	回数・参加者
4ヶ月健診での情報発信	2025年5月～	9回開催・74組
1stバースデー事業での 情報発信	2025年6月～	8回開催・64組

【参加者の声】

施設名はいくつか聞いたことはあったけど、施設ごとの違いや利用できる曜日などを調べることはできていなかった。紹介してもらって近くに遊びに行けそうな施設があることを知れました！

- **健康増進課が実施する**、
4ヶ月健診(全世帯対象)と
1stバースデー事業(希望者)に参加！
- **直接会って**、市内にある支援施設や
お出かけの情報を提供



施設を利用したことがない人にも 情報が届くようになった！



でも、、

施設を利用したい と思っていても
一歩目のハードルが高く
利用できない人も

⇒ 利用に繋げるには
どうしたらいい？

市内にある支援施設に繋げる動線づくり

<step3>一緒に行く

【施設訪問サポート事業】

そろそろお出かけ、
それなら「わくわく」。
4ヶ月おめでとうございます。

ぴったりBabyちゃん、集まれ～！

生後4ヶ月を過ぎて、そろそろお出かけしてみたいなと思うことはありませんか？
でも、どこ行けばいいんだろう…と悩んだり、初めて行く場所がどんなところかとドキドキしたり…。
そこで「子育て支援わくわくけせんぬま」に4ヶ月ちゃん親子で遊びに行くイベントを企画しました。
初めての方でも大丈夫。私たちと一緒に遊びに行ってみませんか？

2025 / () 10時集合 定員：6組 参加費 無料

開催場所：！子育て支援わくわくけせんぬま
(気仙沼市田尻沢190-3)
ミルク用お湯 / 授乳室 / おむつ替えスペースあり

11:30頃でイベント自体は終了となりますが、施設自体は15時まで開いていますので、
ぜひ、お昼を食ったり、ゆっくりしてってください。

スタッフのみなさん

普段のわくわくをちょこっと体験！
当日できること

成長の記録
手形足形アート

同じ月齢のお友だちとの
ふれあい

お下がり服がもらえる
みんなのたんす

＼わたしたちと一緒にいこう！／

主催：けせんぬま子育てコレクティブ
インパクトプラットフォーム「コソダテノミカタ」

申し込みはこちら▶
コソダテノミカタ公式ライン

締切 / ()

QRコード



- 2025年9月より、毎月1回開催
- 施設利用の**はじめの一步をサポート**！

4ヶ月健診であったママに…

一緒に子育て支援施設に行きませんか？

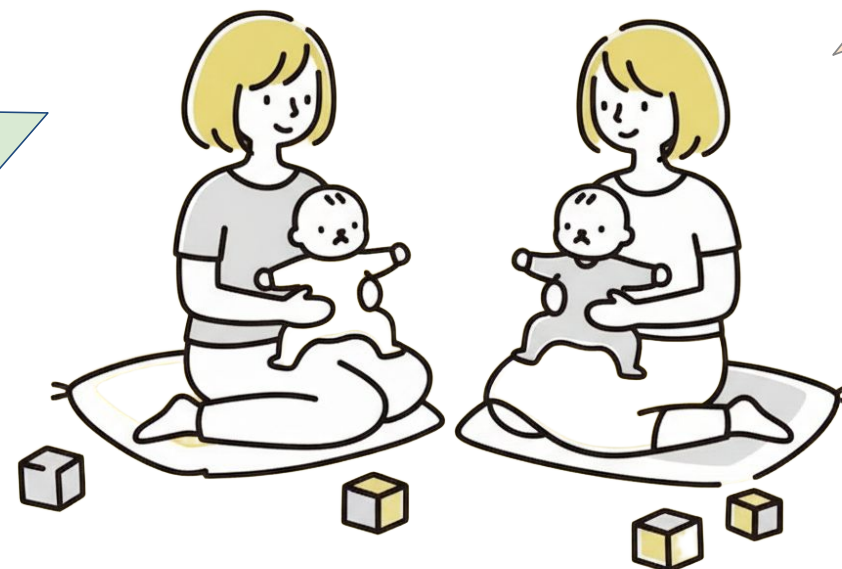


▼ これまでの取り組み

プロジェクト	開催数	参加者数	(子育て支援わくわくけせんぬまの利用)
施設訪問サポート事業	5回	19人	初めて10人、久しぶり3人、 普段から利用している6人

【参加者の声】

実施に参加してみたら、不安が吹き飛ぶくらい優しくて明るいスタッフさん達で、とても楽しく過ごすことが出来ました！



施設のことは知っていたけど、一緒に行くママ友もいなくて、一人で行く勇気もなく行けなかった。声をかけてもらえて、嬉しかった。参加する一歩が踏み出せました！

そろそろお出かけしたいと思ってけど、月齢的にどこに遊びにいったら良いのか分からなかったのので、イベントという形で開催してくれて、ありがたかった。

▼ 活動のポイント

① 市内にある **支援施設の総力戦** で、ママたちの子育てをサポート

② 行政と民間の **得意を活かした役割分担**

③ **当事者 兼 利用者目線** での紹介

⇒ 支援者からの情報提供ではなく、同じ当事者のリアルな口コミや利用状況を
ママ友感覚でお伝え！

こどもの声を聞いて、ミライを作りたい！

【 気仙沼こども商店街 】



- 2024年からスタート
- こどもたちがやりたいお店を開く **1日だけの商店街イベント**

こどもの声を聞いて、ミライを作りたい！

【 気仙沼こども商店街 】



▼ これまでの取り組み

2024年度

2025年度

来場者



520名

こどもの
参加グループ



10店舗



834名

15店舗

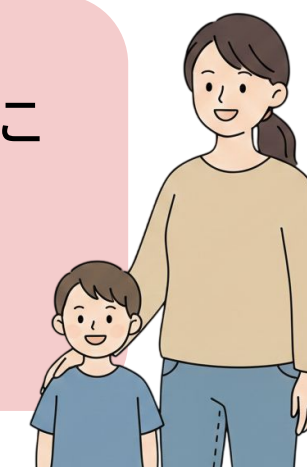
出店したこども

今までの人生で一番楽しかった！
準備で友だちと
一緒に過ごす時間が楽しくて、学校に行っていない時期も長かったけれど、友だちを増やしたくなった。



保護者

自分の子どもが商品を作ったり売上を考えたりすることができて大きな成長を感じた。
手や口を出さず、見守ることの大切さを感じた。



▼ 活動のポイント

1) 子育て支援 からこども支援 へ

(当事者の声やメンバーのモチベーションで柔軟に変化)

⇒タウンミーティングや日々の現場での気づきを重ね、未就学児・パパママ中心の活動から、

小中学生を対象とした活動へチャレンジ

2) 地域のマルシェと合同で開催 ！

⇒いち支援団体が前から行っていた地域に根差したイベントに、同時開催させてもらう形式で実施し、一定の集客があったことで体験の質があがった

03

コレクティブインパクト とは？

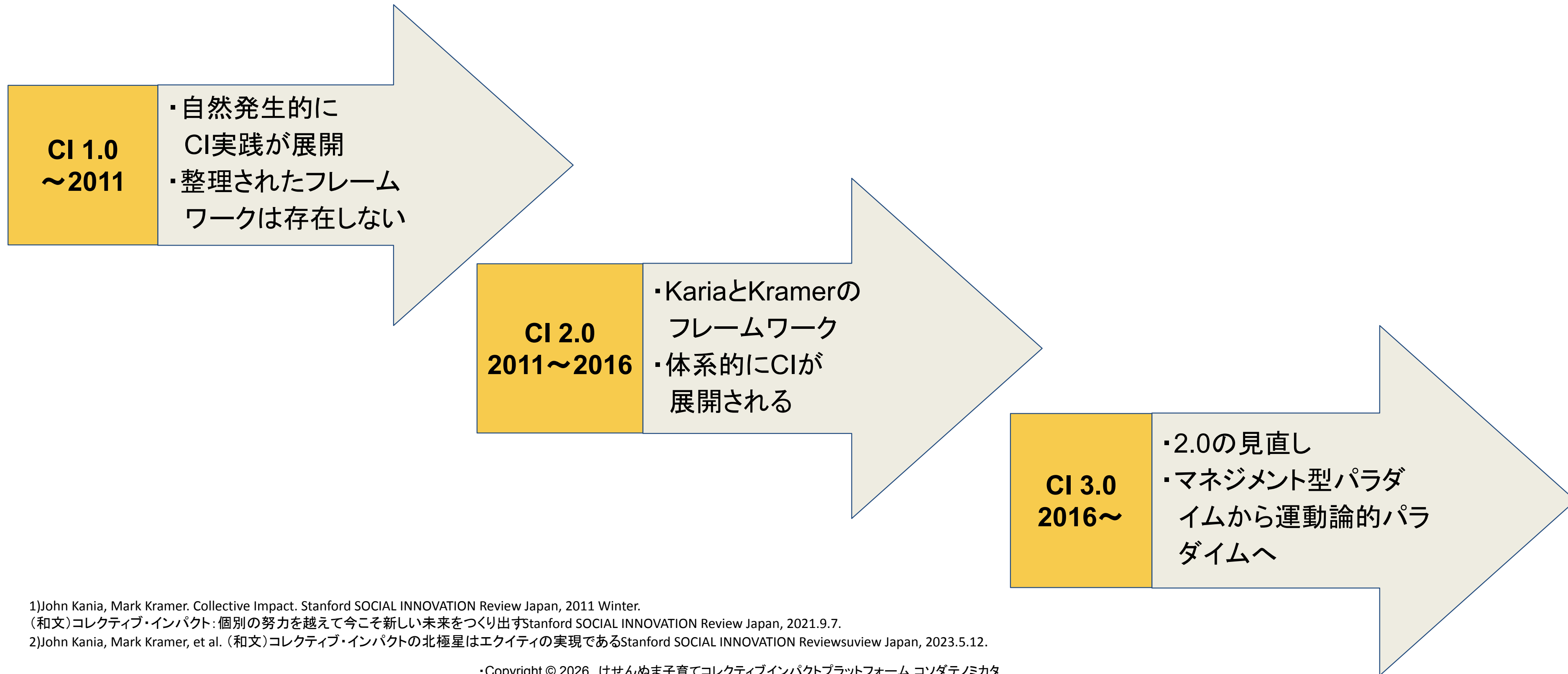


▼ コレクティブインパクトとは

ともに学び、連携して行動することによって、
本質的な社会課題の解決を目指す、
コミュニティの人々とさまざまな組織によるネットワーク

▼ コレクティブインパクトの成り立ち

- 2011年にジョン・カニアとマーク・クラマーによって提唱された概念



1)John Kania, Mark Kramer. Collective Impact. Stanford SOCIAL INNOVATION Review Japan, 2011 Winter.

(和文)コレクティブ・インパクト:個別の努力を越えて今こそ新しい未来をつくり出すStanford SOCIAL INNOVATION Review Japan, 2021.9.7.

2)John Kania, Mark Kramer, et al. (和文)コレクティブ・インパクトの北極星はエクイティの実現であるStanford SOCIAL INNOVATION Reviewsuview Japan, 2023.5.12.

▼ なぜいまコレクティブインパクト？

孤立したインパクト (Isolated Impact)	集合的なインパクト (Collective Impact)
＜概要＞ 単独の組織が、個別に特定の社会課題の解決に取り組むアプローチ	＜概要＞ 異なるセクターの様々な主体が、共通のゴールを掲げ、特定の社会課題の解決に取り組むアプローチ
＜特徴＞ 単純な社会課題は一組織によって解決が可能であるが、現代の複雑化・相互依存化した社会においては、単独の組織や個人による取り組みだけでは限界がある	＜特徴＞ 社会課題の根本解決に向けて経営資源を集中的に投下するため、時間はかかるが、大規模な社会変革を起こすことができる

▼ 2.0から3.0へ～コレクティブインパクトの要素

管理

運動

	コレクティブインパクト <u>2.0</u>	コレクティブインパクト <u>3.0</u>
リーダーシップ パラダイム	マネジメント型 パラダイム	ムーブメント型 パラダイム
5 つ の 要 素	共通のアジェンダ	コミュニティの願い
	共有された測定システム	戦略的学習
	相互に強化しあう活動	効果が最大になる活動の組み合わせ
	計測的コミュニケーション	すべての関係者の参画
	活動をサポートする中心的組織	変革プロセスを支える環境・仕組み

佐々木 利廣, 横山 恵子, 後藤 祐一著(2022)「日本のコレクティブ・インパクト：協働から次のステップへ」中央経済社

▼ コレクティブインパクト 3.0の5つの要素

01 コミュニティの願い Community Aspiration

(価値観や立場が違ってても)
そこに関わる人たちの
共通の土台を見つける

02 戦略的学習 Strategic Learning

戦略的な学習の一部として変化を測る

03 効果が最大になる 活動の組み合わせ High Leverage Activities

- ・変えようとしているシステムを理解する
- ・変化を生み出すためのリソースを
コミュニティがどこに持っているかを見極める

04 すべての関係者の参画 Inclusive Community Engagement

ある問題に最も影響を受ける人々が
解決のための取り組みに全面的に関わる

05 変革プロセスを支える環境・仕組み Containers for Change

強くしなやかで許容度の高い環境をつくる

04

コソダテノミカタが考える 協働のポイント

~様々な人や団体が共に社会課題解決に取り組み **効果を最大化する** ために~



▼ コソダテノミカタが考える協働の 3つのポイント

1)「マネジメント (管理)」から「ムーブメント (運動)へ」

2) 背景理解に基づく翻訳がインパクトを最大化する

3) 願いを共有し、変化し続ける



▼ コソダテノミカタが考える協働の 3つのポイント

▶ 1)「マネジメント (管理)」から「ムーブメント (運動)へ」

2) 背景理解に基づく翻訳がインパクトを最大化する

3) 願いを共有し、変化し続ける



▼ どうしてムーブメント (運動)？

- 正解がなく、社会や状況に合わせて常に形が変わる社会課題

→ **人の意思と感情を動かし続けることが必要**

- 多様な人が、多様な関わりができる状態が大切



▼ コソダテノミカタのカタチ



メンバーのこどもたち

総勢54人！！

▼ ムーブメントを維持するために必要な 4つの要素

① プラットフォームに対する **信頼**

② プラットフォームの **願い、** を共有する

③ **モチベーション** が継続する **仕組みづくり**

④ 支える **事務局**

▼ ムーブメントを維持するために必要な 4つの要素

① プラットフォームに対する信頼



「〇〇団体の〇〇さん」ではなく、一人の人間として
お互いを知ること意識的に時間をかける

▼ ムーブメントを維持するために必要な 4つの要素

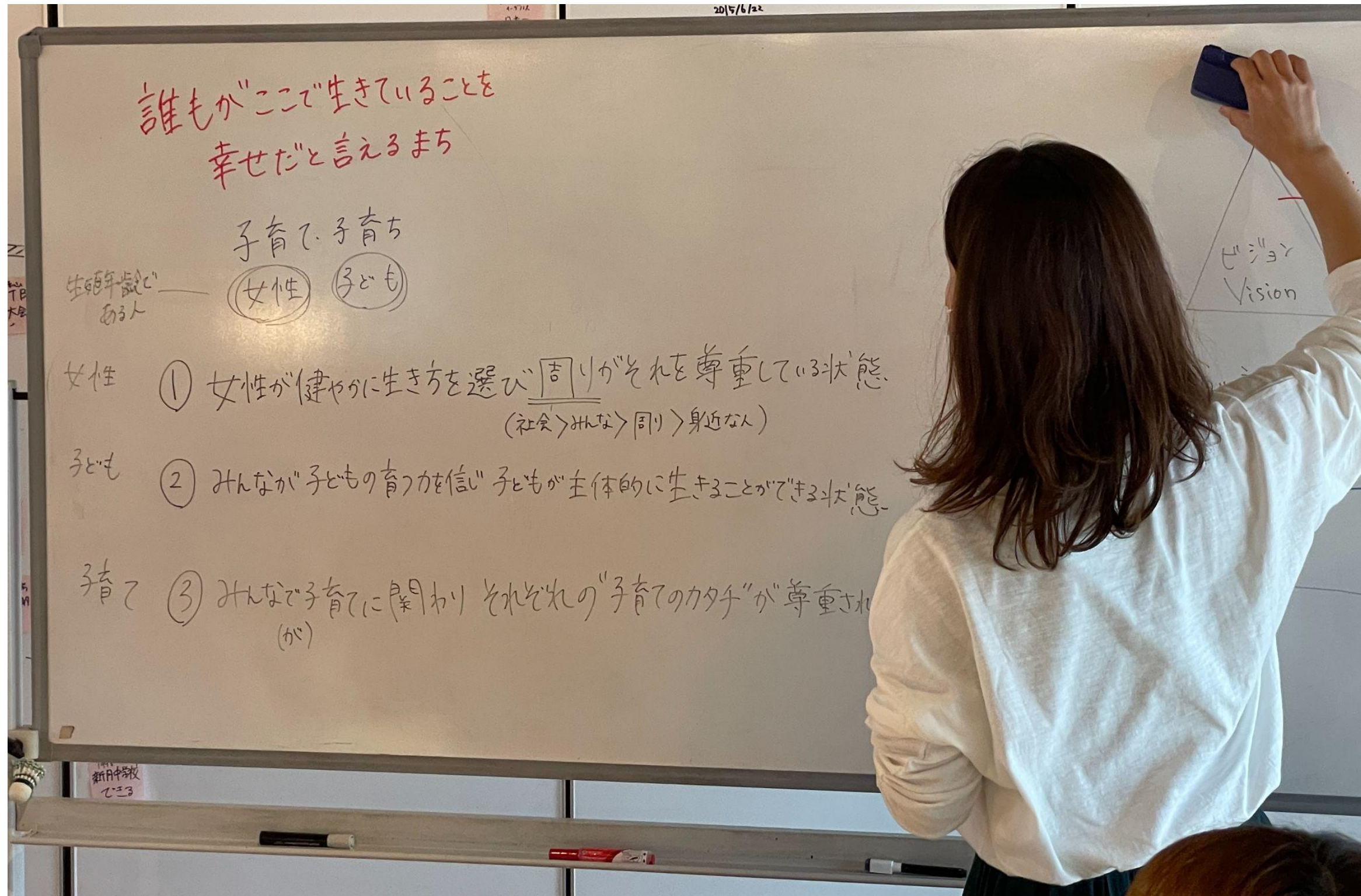
① プラットフォームに対する信頼



関わり方は様々だと、
みんなが認識していること

▼ ムーブメントを維持するために必要な 4つの要素

② プラットフォームの願いを共有する



▼ ムーブメントを維持するために必要な 4つの要素

③ モチベーションが継続する仕組みづくり

- 「やりたい」人がいない ものは、はじめない
- 「参加」できなくても、「参画」している 意識がもてる体制
- 自分が成長していく感覚と役割
- もやもや、違和感 を声に出せる環境

全ての活動に共通するピース

全てのピースがハマると
「単年度協働プロジェクト」として走り出す。



▼ ムーブメントを維持するために必要な 4つの要素

④ 支える事務局

- ・事務局が支えるのは **メンバーの動きやすさ**
- ・プロジェクトの進行は極力 **管理しない**



〈事務局が担う役割〉

- ① **財源確保**
- ② プロジェクトの **バランス調整** と不足の **補強**
- ③ **安全管理、リスクヘッジ**

▼ コソダテノミカタが考える協働の **3つ**のポイント

1)「マネジメント (管理)」から「ムーブメント (運動)へ」

▶ 2) **背景理解**に基づく**翻訳**がインパクトを最大化する

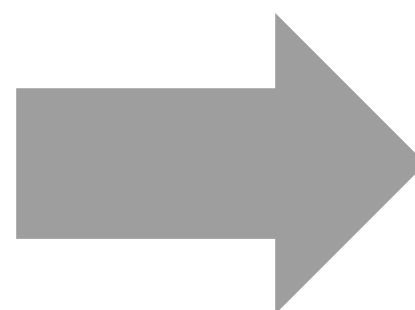
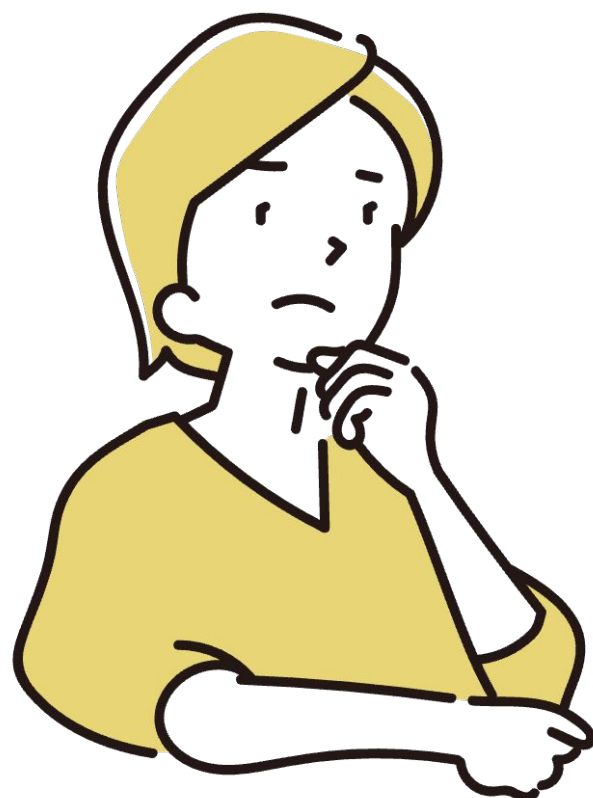
3) 願いを共有し、変化し続ける



▼ 背景理解に基づく翻訳とは？

関わる人それぞれの **立場・制約・価値観・今置かれている状況** を理解し、
その人の声の奥にある **本質的なニーズや願い** を汲み取り、
他の人にも伝わる言葉へと変換 すること。

「公園が欲しい！」



「難しいです」



(意見を言っても聞いてもらえない)

(無理なことばかり言われる)

▼ 背景理解に基づく翻訳とは？

背景理解

「公園が欲しい！」

Aさん(30代後半)
子ども
1歳、3歳、5歳の男の子
土日はワンオペ



＜発言の背景＞

- ・土日の過ごし方に困っている
- ・既存の公園は駐車場がなくていけない
- ・3兄弟の遊び方が違って、ワンオペでつらい

理解



「難しいです」

Bさん
行政職員



＜発言の背景＞

- ・定められている数の公園は作ってある。
- ・予算が捻出が難しい。
- ・計画にない。

▼ 背景理解に基づく翻訳とは？

翻訳する

「公園が欲しい！」



- ・駐車場が充実している
- ・土日も開いている
- ・兄弟と一緒に遊べる

翻訳

「それなら
できるかも！」



子育て世帯は、こんな要素を必要と
していそうです。例えば、今ある〇〇の計
画に活かせる部分はありませんか？

他の手法でも解決！

- ・**民間の支援施設**
(遊べる・ワンオペのつらさを聴いてもらえる)
- ・**Instagramで週末のイベント**
情報を提供



▼ 背景理解に基づく翻訳による効果

① セクターを超えた対話 がスムーズになる

② プロジェクトの 質が最大化 する

違いがチカラに！！

.....



▼ コソダテノミカタが考える協働の **3つ**のポイント

1)「マネジメント (管理)」から「ムーブメント (運動)へ」

2) 背景理解に基づく翻訳がインパクトを最大化する

▶ **3) 願いを共有し、変化し続ける**



プラットフォームの願いをつくり共有する



「このまちの子ども・子育て環境をよくしたい！」

個性も、活動に対する想いも、バラバラな人たちだけど
ここだけ是一緒！という共通の大きな願い。



誰もが「ここで」生きていふことも
幸せだと言えふまち



目標ではなく、**解釈の余白**を持った「願い」

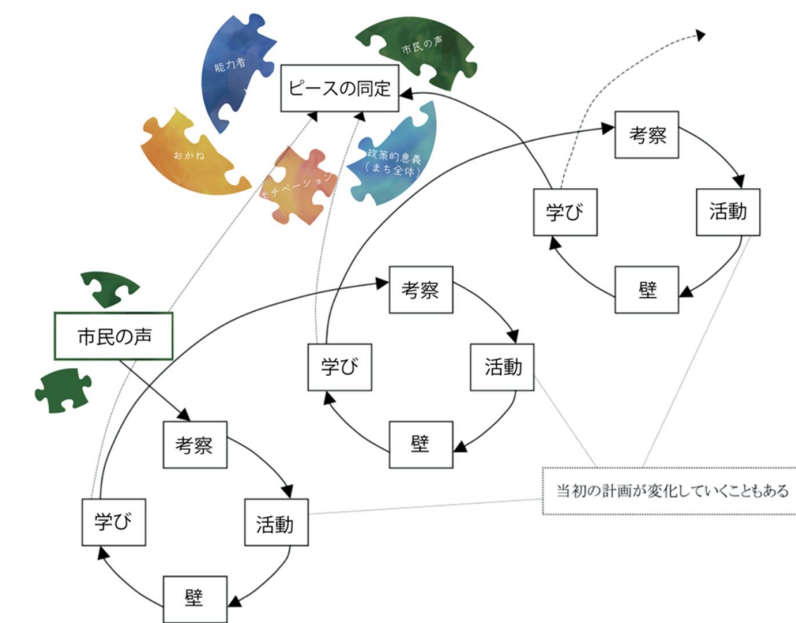
立場や考え方の違う人たちが、同じ場に集い、進み続けられる理由

変わらない願いと、変化し続ける活動

願いは変わらない、でも、**必ず活動は変えていく**

- ・子どもを産み、育てる世代はどんどん入れ替わる。
- ・世の中、社会の動きが変わる。
- ・進み方は毎年見直し、変えていくことが必要。

これが【単年度プロジェクト】の体制をとっている理由



▼ 変化し続けるために大切にしていること

①「気仙沼のこども・子育て界隈」の現状を、 それぞれの視点から出し、みんなで話し合う

→ 年に1度、プロジェクトを止めてみんなで話し合う。
それぞれの視点から対話し、次にやること・やめることを決めていく。

② 常に当事者をコミュニティに入れ続ける

→ **乳幼児を育てている世代** がいなくならないようにしている

既存のやり方に固執せず、常に時代や社会の流れに合わせて組織も活動もアップデート

コソダテノミカタ的、コレクティブインパクト まとめ



▼ コソダテノミカタが考える協働の **3つ**のポイント

1)「マネジメント (管理)」から「**ムーブメント** (運動)へ」

2) **背景理解**に基づく**翻訳**がインパクトを最大化する

3) **願い**を共有し、**変化**し続ける



▼ コソダテノミカタのカタチ

2026年1月 Ver

コミュニティの願い

プロジェクト

プロジェクト

プロジェクト

プロジェクト

プロジェクト

事務局

共通のアジェンダ

共通のアジェンダ

共通のアジェンダ

共通のアジェンダ

声

声

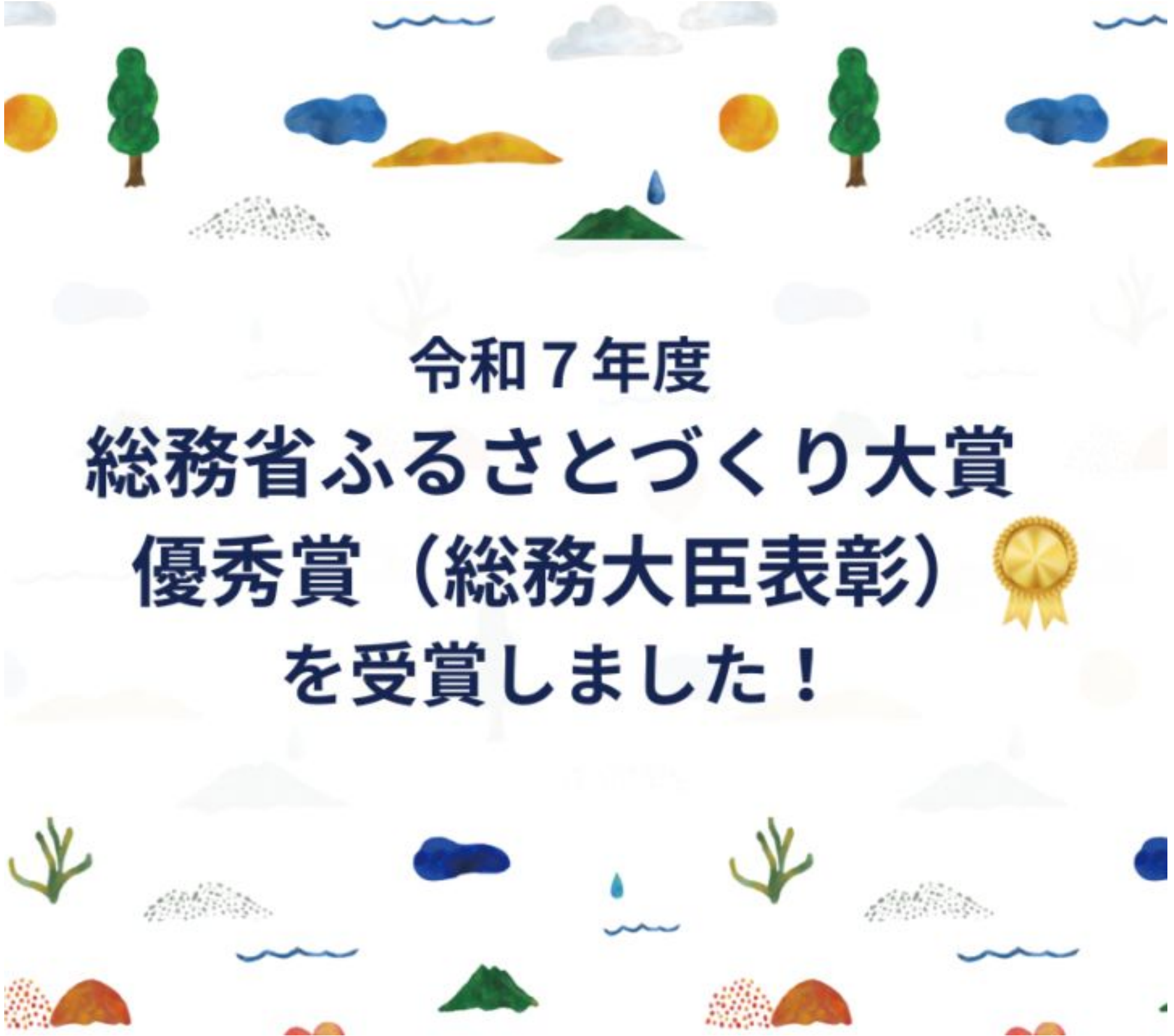
声

声

声

声

声



令和7年度
総務省ふるさとづくり大賞
優秀賞（総務大臣表彰）
を受賞しました！

2月10日 授賞式

同じような取り組みが
全国でも広がるよう
想いを伝えてきます。